

令和4年度

(2022年度)

決 算 審 査 意 見 書

士別地方消防事務組合会計

士別地方消防事務組合監査委員

士 消 監 第 2 4 号

令和 5 (2023) 年 12 月 6 日

士別地方消防事務組合

管理者 渡 辺 英 次 様

士別地方消防事務組合

監査委員 浅 利 知 充

監査委員 中 原 浩 一

令和 4 年度士別地方消防事務組合会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 4 年度士別地方消防事務組合会計歳入歳出決算について審査したので、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

《決算審査意見》

1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果及び意見	1

《決算収支状況》

1 決算の概要	2
2 歳 入	3
第1款 分担金及び負担金	4
第2款 使用料及び手数料	4
第3款 国庫支出金	5
第4款 財産収入	5
第5款 寄附金	5
第6款 繰越金	6
第7款 諸収入	6
3 歳 出	7
第1款 議会費	8
第2款 総務費	8
第3款 消防費	9
第4款 公債費	11
第5款 予備費	11

《財産に関する調書》 12

(注)

- 1 文中に用いる金額は、原則として万円単位で表示しており、万円未満を切り捨てています。
- 2 各表中に用いる金額は、円単位で表示しています。
- 3 文中及び各表中の比率(%)は、少数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- 4 文中及び各表中の比率(%)の比較は、ポイントで表しています。
- 5 各表中の数値等の用法は、次のとおりです。
「0.0」：「該当数値はあるが、0.05未満のもの」を表しています。
「－」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表しています。
「皆増」：比較増減で、「全数増加したもの」を表しています。
「皆減」：比較増減で、「全数減少したもの」を表しています。
「△」：比較増減での「減」を表しています。
- 6 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値と、その内訳の合計値とは、一致しない場合があります。

《決算審査意見》

1 審査の対象

令和4年度 土別地方消防事務組合会計歳入歳出決算

2 審査の期間

令和5年9月13日から令和5年12月5日まで

3 審査の方法

土別地方消防事務組合の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等について、関係法令に準拠して調製または作成されているか、計数は正確か、予算執行・事務処理は適正か等に主眼をおいて審査しました。

また、関係部署に資料等の提出を求め、必要に応じ説明を受けて審査の参考としたほか、現金残高の確認、諸証票書類の検証については、別に法の定めるところにより実施している例月現金出納検査の結果を踏まえて審査をしました。

4 審査の結果及び意見

歳入歳出決算書、同事項別明細書及び実質収支に関する調書については、法令の様式を備え、表示された計数は正確であり、予算の執行状況についても諸帳簿と照合した結果、適正であると認めました。

財産の記録管理についても、関係諸帳簿と照合確認の結果、正確であり適正に処理されていると認めました。

歳入歳出決算及び予算執行等の状況については、次のとおりです。

《決算収支状況》

1 決算の概要

令和4年度の決算状況は〔表1〕のとおりで、歳入総額は10億272万円（予算現額に対する収入率は87.1%）、歳出総額は9億9,854万円（予算現額に対する執行率は86.7%）、歳入歳出差引額は418万円で、翌年度へ繰り越すべき財源がないため実質収支額は418万円となり、この剰余金を全額、令和5年度に繰り越しています。

〔表1〕 決算の概要

（単位：円、％、ポイント）

区 分	予算現額	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引額 ③ (①-②)	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実 質 収支額 (③-④)
		収入済額 ①	収入率	支出済額 ②	執行率			
令和4年度	1,151,416,000	1,002,726,195	87.1	998,543,401	86.7	4,182,794	0	4,182,794
令和3年度	990,031,000	944,418,280	95.4	940,209,940	95.0	4,208,340	0	4,208,340
比較増減	161,385,000	58,307,915	△ 8.3	58,333,461	△ 8.3	△ 25,546	0	△ 25,546

歳入及び歳出決算額は〔表2〕のとおりで、前年度と比べ、歳入では5,830万円（6.2%）、歳出では5,833万円（6.2%）の増額となり、収支差引額は前年度より2万円（0.6%）の減額となっています。

〔表2〕 決算の年度別推移

（単位：円、％）

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年度増減	
	金 額 ①	金 額 ②	金 額 (①-②)	増減率
歳 入 決 算 額	1,002,726,195	944,418,280	58,307,915	6.2
歳 出 決 算 額	998,543,401	940,209,940	58,333,461	6.2
収 支 差 引 額	4,182,794	4,208,340	△ 25,546	△ 0.6

〈参考〉予算現額の状況

（単位：円）

区 分	予算現額	当初予算	補正予算 (第1号)	補正予算 (第2号)	補正予算 (第3号)
令和4年度	1,151,416,000	1,157,439,000	0	762,000	△ 6,785,000

2 歳 入

歳入決算の科目別収入状況は〔表 3〕のとおりで、分担金及び負担金が 9 億 7,693 万円（構成比 97.4%）、国庫支出金が 1,414 万円（構成比 1.4%）、諸収入が 621 万円（構成比 0.6%）、繰越金が 420 万円（構成比 0.4%）、財産収入が 80 万円（構成比 0.1%）、使用料及び手数料が 41 万円（構成比 0.0%）となっています。

〔表 3〕科目別収入状況

（単位：円、％）

区 分（款）	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収入率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	1,131,062,000	976,935,397	976,935,397	97.4	86.4	100.0
使用料及び手数料	100,000	416,950	416,950	0.0	417.0	100.0
国庫支出金	14,148,000	14,148,000	14,148,000	1.4	100.0	100.0
財産収入	804,000	804,000	804,000	0.1	100.0	100.0
寄附金	1,000	0	0	－	－	－
繰越金	4,000	4,208,340	4,208,340	0.4	105,208.5	100.0
諸収入	5,297,000	6,213,508	6,213,508	0.6	117.3	100.0
合 計	1,151,416,000	1,002,726,195	1,002,726,195	100.0	87.1	100.0

歳入の市町別内訳は〔表 4〕のとおりで、士別市が 5 億 9,835 万円（構成比 59.7%）、和寒町が 1 億 6,003 万円（構成比 16.0%）、剣淵町が 8,451 万円（構成比 8.4%）、幌加内町が 1 億 5,982 万円（構成比 15.9%）となっています。

〔表 4〕市町別歳入決算内訳

（単位：円、％）

区 分（款）	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	合 計
分担金及び負担金	580,004,789	155,760,839	83,198,662	157,971,107	976,935,397
使用料及び手数料	200,136	79,221	75,051	62,542	416,950
国庫支出金	14,148,000	0	0	0	14,148,000
財産収入	0	0	0	804,000	804,000
寄附金	0	0	0	0	0
繰越金	768,909	1,274,649	1,207,891	956,891	4,208,340
諸収入	3,231,197	2,924,571	30,084	27,656	6,213,508
合 計	598,353,031	160,039,280	84,511,688	159,822,196	1,002,726,195
構 成 比	59.7	16.0	8.4	15.9	100.0

（士別市の分担金及び負担金に剣淵町救急業務負担金 17,000,000 円と剣淵町高規格救急自動車購入負担金 1,600,000 円を含む。）

第1款 分担金及び負担金

収入状況は〔表5〕のとおりで、収入済額は前年度より5,240万円増の9億7,693万円となっています。

〔表5〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	1,131,062,000	976,935,397	976,935,397	86.4	100.0
令和3年度	981,547,000	924,529,971	924,529,971	94.2	100.0
比較増減	149,515,000	52,405,426	52,405,426	△7.8	-

構成市町の負担金の年度別収入状況は〔表6〕のとおりで、士別市が5億8,000万円（構成比59.4％）、和寒町が1億5,576万円（構成比15.9％）、剣淵町が8,319万円（構成比8.5％）、幌加内町が1億5,797万円（構成比16.2％）となっています。

〔表6〕年度別収入状況

(単位：円、％)

区 分	令和4年度		令和3年度		対前年度増減	
	金額①	構成比	金額②	構成比	金額(①-②)	増減率
士 別 市	580,004,789	59.4	527,500,000	57.1	52,504,789	10.0
和 寒 町	155,760,839	15.9	152,355,990	16.5	3,404,849	2.2
剣 淵 町	83,198,662	8.5	83,785,739	9.1	△587,077	△0.7
幌 加 内 町	157,971,107	16.2	160,888,242	17.4	△2,917,135	△1.8
合 計	976,935,397	100.0	924,529,971	100.0	52,405,426	5.7

第2款 使用料及び手数料

収入状況は〔表7〕のとおりで、収入済額は前年度より6,830円増の41万円で、その主な内容は、設置許可申請手数料、変更許可申請手数料、完成検査手数料などで、件数は前年度より1件減の25件となっています。

〔表7〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	100,000	416,950	416,950	417.0	100.0
令和3年度	100,000	410,120	410,120	410.1	100.0
比較増減	0	6,830	6,830	6.9	-

第3款 国庫支出金

収入状況は〔表8〕のとおりで、収入済額は前年度より皆増の1,414万円となっています。

〔表8〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	14,148,000	14,148,000	14,148,000	100.0	100.0
令和3年度	0	0	0	-	-
比較増減	14,148,000	14,148,000	14,148,000	皆増	-

第4款 財産収入

収入状況は〔表9〕のとおりで、収入済額は前年度より5万円増の80万円となっています。

〔表9〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	804,000	804,000	804,000	100.0	100.0
令和3年度	748,000	748,000	748,000	100.0	100.0
比較増減	56,000	56,000	56,000	-	-

第5款 寄附金

収入状況は〔表10〕のとおりで、調定額及び収入済額はなく、前年度からの増減はありません。

〔表10〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	1,000	0	0	-	-
令和3年度	1,000	0	0	-	-
比較増減	0	0	0	-	-

第6款 繰越金

収入状況は〔表 11〕のとおりで、収入済額は前年度より 653 万円減の 420 万円となっています。

〔表 11〕 収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	4,000	4,208,340	4,208,340	105,208.5	100.0
令和3年度	4,000	10,743,079	10,743,079	268,577.0	100.0
比較増減	0	△ 6,534,739	△ 6,534,739	△ 163,368.5	-

※令和4年度収入済額の市町別内訳…士別市 768,909 円 和寒町 1,274,649 円

剣淵町 1,207,891 円 幌加内町 956,891 円

第7款 諸収入

収入状況は〔表 12〕のとおりで、収入済額は前年度より 177 万円減の 621 万円となっており、その主な内容は、高速自動車国道救急業務支弁金 433 万円（士別市 144 万円、和寒町 288 万円）などとなっています。

〔表 12〕 収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和4年度	5,297,000	6,213,508	6,213,508	117.3	100.0
令和3年度	7,631,000	7,987,110	7,987,110	104.7	100.0
比較増減	△ 2,334,000	△ 1,773,602	△ 1,773,602	12.6	-

3 歳 出

歳出決算の科目別支出状況は〔表 13〕のとおりで、支出済額は 9 億 9,854 万円（執行率 86.7%）で、その主な内容は、消防費が 9 億 35 万円（構成比 90.2%）、総務費が 9,690 万円（構成比 9.7%）などであり、不用額は 5,443 万円となっています。

〔表 13〕科目別支出状況

（単位：円、％）

区 分 (款)	予算現額	支出済額	構成比	翌年度 繰越額	不用額	執行率
議 会 費	358,000	338,241	0.0	0	19,759	94.5
総 務 費	101,766,000	96,902,163	9.7	0	4,863,837	95.2
消 防 費	1,048,242,000	900,353,555	90.2	98,438,000	49,450,445	85.9
公 債 費	950,000	949,442	0.1	0	558	99.9
予 備 費	100,000	0	-	0	100,000	-
合 計	1,151,416,000	998,543,401	100.0	98,438,000	54,434,599	86.7

科目別支出の年度別比較は〔表 14〕のとおりで、前年度より増加したものは、消防費で 5,395 万円（6.4%）増の 9 億 35 万円、総務費で 438 万円（4.7%）増の 9,690 万円などであり、減少したものは、公債費で 1 万円（1.1%）減の 94 万円となっています。また、節別の年度別比較は次ページ〔表 15〕のとおりです。

〔表 14〕歳出の年度別比較

（単位：円、％）

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年度増減	
	金 額 ①	金 額 ②	金 額 (①－②)	増減率
議 会 費	338,241	336,795	1,446	0.4
総 務 費	96,902,163	92,519,369	4,382,794	4.7
消 防 費	900,353,555	846,393,984	53,959,571	6.4
公 債 費	949,442	959,792	△ 10,350	△ 1.1
予 備 費	0	0	0	-
合 計	998,543,401	940,209,940	58,333,461	6.2

〔表 15〕支出済額の科目(節)別・年度別比較

（単位：円、％）

区 分 (節)	令和4年度		令和3年度		対前年度増減	
	金 額 ①	構成比	金 額 ②	構成比	金 額 (①－②)	増減率
1 報 酬	38,205,953	3.8	22,094,966	2.4	16,110,987	72.9
2 給 料	326,878,105	32.7	330,725,342	35.2	△ 3,847,237	△ 1.2
3 職 員 手 当 等	292,180,549	29.3	288,515,444	30.7	3,665,105	1.3
4 共 済 費	113,024,662	11.3	116,505,960	12.4	△ 3,481,298	△ 3.0
7 報 償 費	1,105,928	0.1	796,473	0.1	309,455	38.9
8 旅 費	4,660,955	0.5	13,516,745	1.4	△ 8,855,790	△ 65.5
9 交 際 費	494,258	0.0	274,004	0.0	220,254	80.4
10 需 用 費	61,427,537	6.2	59,042,352	6.3	2,385,185	4.0
11 役 務 費	19,263,810	1.9	19,264,947	2.0	△ 1,137	△ 0.0
12 委 託 料	35,072,285	3.5	34,775,789	3.7	296,496	0.9
13 使 用 料 及 び 賃 借 料	3,124,886	0.3	2,649,116	0.3	475,770	18.0
14 工 事 請 負 費	11,693,550	1.2	7,073,000	0.8	4,620,550	65.3
17 備 品 購 入 費	64,882,500	6.5	18,240,266	1.9	46,642,234	255.7
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	23,321,281	2.3	23,643,644	2.5	△ 322,363	△ 1.4
22 償 還 金 利 子 及 び 割 引 料	949,442	0.1	959,792	0.1	△ 10,350	△ 1.1
26 公 課 費	2,257,700	0.2	2,132,100	0.2	125,600	5.9
合 計	998,543,401	100.0	940,209,940	100.0	58,333,461	6.2

第1款 議会費

組合議会の運営に要する経費であり、支出済額は〔表 16〕のとおりで 33 万円となっています。

〔表 16〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和 4 年 度	358,000	338,241	19,759	94.5
令和 3 年 度	351,000	336,795	14,205	96.0
比較増減	7,000	1,446	5,554	△ 1.5

第2款 総務費

本部運営に要する経費であり、支出済額は〔表 17〕のとおりで前年度より 438 万円増の 9,690 万円となっています。

前年度より増加した主なものは、総務管理費の一般管理費で需用費 173 万円などであり、減少した主なものは、総務管理費の一般管理費で委託料 14 万円などとなっています。

不用額は 486 万円で、その主なものは総務管理費の一般管理費で役務費 126 万円、共済費 66 万円、職員手当等 53 万円、旅費 50 万円、使用料及び賃借料 49 万円などとなっています。

〔表 17〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和 4 年 度	101,766,000	96,902,163	4,863,837	95.2
令和 3 年 度	98,724,000	92,519,369	6,204,631	93.7
比較増減	3,042,000	4,382,794	△ 1,340,794	1.5

第3款 消防費

消防署の運営に要する経費であり、支出済額は〔表 18〕のとおりで前年度より 5,395 万円増の 9 億 35 万円となっています。

前年度より増加した主なものは、士別消防費の消防施設費で高規格救急自動車購入に伴う備品購入費 4,735 万円、非常備消防費で報酬 1,041 万円、常備消防費で職員手当等 907 万円などであり、減少した主なものは、士別消防費の非常備消防費で旅費 761 万円、常備消防費で給料 303 万円、共済費 216 万円、剣淵消防費の常備消防費で職員手当等 269 万円、幌加内消防費の常備消防費で職員手当等 268 万円などとなっています。

〔表 18〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和 4 年 度	1,048,242,000	900,353,555	49,450,445	85.9
令和 3 年 度	889,895,000	846,393,984	43,501,016	95.1
比較増減	158,347,000	53,959,571	5,949,429	△ 9.2

消防費の項別内訳は〔表 19〕のとおりで、士別消防費は 5 億 4,201 万円（構成比 60.2％）、和寒消防費は 1 億 4,408 万円（構成比 16.0％）、剣淵消防費は 6,803 万円（構成比 7.6％）、幌加内消防費は 1 億 4,622 万円（構成比 16.2％）となっています。

翌年度繰越額の内容は、士別消防費の消防施設費で備品購入費 9,823 万円、公課費 18 万円、役務費 2 万円となっています。

不用額は 4,945 万円で、その主なものは、士別消防費の常備消防費で職員手当等 866 万円、共済費 651 万円、給料 571 万円、需用費 357 万円、非常備消防費で報酬 661 万円、幌加内消防費の消防施設費で需用費 152 万円などとなっています。

〔表 19〕 消防費項別支出内訳

(単位：円、％)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	翌年度繰越額	不用額	執行率
士 別 消 防 費	令和 4 年 度	679,311,000	542,015,556	60.2	98,438,000	38,857,444	79.8
	令和 3 年 度	522,441,000	488,097,516	57.7	0	34,343,484	93.4
和 寒 消 防 費	令和 4 年 度	148,062,000	144,081,448	16.0	0	3,980,552	97.3
	令和 3 年 度	143,763,000	140,787,546	16.6	0	2,975,454	97.9
剣 淵 消 防 費	令和 4 年 度	70,062,000	68,035,553	7.6	0	2,026,447	97.1
	令和 3 年 度	70,961,000	69,576,714	8.2	0	1,384,286	98.0
幌 加 内 消 防 費	令和 4 年 度	150,807,000	146,220,998	16.2	0	4,586,002	97.0
	令和 3 年 度	152,730,000	147,932,208	17.5	0	4,797,792	96.9
合 計	令和 4 年 度	1,048,242,000	900,353,555	100.0	98,438,000	49,450,445	85.9
	令和 3 年 度	889,895,000	846,393,984	100.0	0	43,501,016	95.1

〔表 20〕 消防職員数

(単位：人.%)

区 分	実 職 員 数		前年比較		条 例 定 数	
	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度
	R4.4.1現在 ①	R3.4.1現在 ②	人数(①－②)	増減率	R4.4.1現在	R3.4.1現在
消 防 本 部	6	6	0	－	6	6
消 防 署	56	54	2	3.7	55	55
う ち 朝 日 支 所	5	5	0	－	－	－
和 寒 支 署	15	15	0	－	15	15
剣 淵 支 署	8	8	0	－	9	9
幌 加 内 支 署	15	15	0	－	15	15
合 計	100	98	2	2.0	100	100

※職員に係る経費については、消防本部は総務費、消防署及び各支署は各消防費から支出しています。

〔表 21〕 消防団員数

(単位：人.%)

区 分	実 団 員 数		前年比較		条 例 定 数	
	令和4年度	令和3年度			令和4年度	令和3年度
	R4.4.1現在 ①	R3.4.1現在 ①	人数(①－②)	増減率	R4.4.1現在	R3.4.1現在
士 別 市 消 防 団	189	190	△ 1	△ 0.5	212	212
和 寒 町 消 防 団	39	39	0	－	48	48
剣 淵 町 消 防 団	40	39	1	2.6	45	45
幌 加 内 町 消 防 団	50	45	5	11.1	56	56
合 計	318	313	5	1.6	361	361

※消防団員に係る経費については、各消防費から支出しています。

第4款 公債費

支出済額は94万円となっており、内訳は元金償還金が94万円、利子償還金が7,768円となっています。〔表22〕〔表23〕

〔表22〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和4年度	950,000	949,442	558	99.9
令和3年度	961,000	959,792	1,208	99.9
比較増減	△ 11,000	△ 10,350	△ 650	－

〔表23〕 公債費の内訳

(単位：円)

令和3年度末 未償還額 ①	令和4年度元利償還額					令和4年度 借入額 ⑤	令和4年度末 未償還額 (①－②＋⑤)
	元 金 ②	利 子			計 ④ (②＋③)		
		起債償還	一時借入	計 ③			
941,674	941,674	7,768	0	7,768	949,442	0	0

第5款 予備費

当初予算額10万円の予備費において充用はなく、全額未執行となっています。

〔表24〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	充用額	不用額	執行率
令和4年度	100,000	0	100,000	－
令和3年度	100,000	0	100,000	－
比較増減	0	0	0	－

《財産に関する調書》

1 公有財産

令和4年度中における公有財産の増減はなく、前年度と同じ6,047.51㎡となっています。

(1) 土地 市又は町有地のため、現在高はありません。

(2) 建物及び工作物

士別消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建）	1,578.69 ㎡
中央第一分団詰所（鉄骨造平家建）	159.87 ㎡
中士別分遣所（木造モルタル平家建）	174.15 ㎡
上士別分遣所（木造モルタル2階建）	171.41 ㎡
上士別分遣所職員住宅（木造モルタル2階建）	101.25 ㎡
上士別分団第3部詰所（鉄骨造平家建）	87.48 ㎡
多寄分遣所（セラミックブロック造平家建）	220.07 ㎡
温根別分遣所（補強セラミックブロック造平家建）	137.70 ㎡
温根別分遣所職員住宅（木造モルタル平家建）	58.32 ㎡
和寒支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部2階建）	679.97 ㎡
中和詰所（木造モルタル平家建）	89.10 ㎡
剣淵支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部3階建）	430.00 ㎡
朝日消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部2階建）	592.11 ㎡
幌加内支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建）	952.31 ㎡
朱鞠内分遣所（鉄筋コンクリート造2階建）	273.35 ㎡
幌加内支署職員待機住宅1（プレキャストコンクリート造平屋建）	133.20 ㎡
幌加内支署職員待機住宅2（プレキャストコンクリート造平屋建）	133.20 ㎡
幌加内支署職員待機住宅3（木造ACL板造平屋建）	75.33 ㎡
合計	18 棟 6,047.51 ㎡

2 物品

重要物品（取得価格50万円以上）は、前年度末現在高は115点（うち車両47点）で、高度救命処置シミュレーター、高規格救急自動車、指揮広報車の計3点を取得し、広報車（救急予備）、広報車（火災調査車）、指揮広報車の計3点を廃棄した結果、年度末現在高は前年度と同じ115点（うち車両46点）となっています。

